

許 可 番 号	倫-623
研 究 課 題 名	ポータブルナビゲーションシステムを用いた人工股関節全置換術に関する後ろ向き研究
診 療 科	整形外科
研 究 責 任 者	神田 章男
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	大阪市立大学 整形外科 講師 箕田行秀
研究の目的と方法	<p>本研究の目的は、ポータブルナビゲーションシステムを用いて人工股関節全置換術を既に行った症例について、寛骨臼カップ設置角度を調査することである。</p> <p>人工股関節全置換術において、寛骨臼カップ設置角度は長期臨床成績に影響を与える最も重要な因子の一つである。寛骨臼カップ設置角度を改善させるため、ナビゲーションシステムがこれまで導入されて来た。従来の光学式ナビゲーションシステムは、寛骨臼カップ設置角度の精度が高いことが報告されてきた。しかし、導入コストが高額であるため、我が国での使用頻度は10%にも満たない。近年、加速度センサーと角速度センサーを利用したポータブルナビゲーションシステムが導入された。導入コストが低く、小規模施設でも導入可能なため、人工股関節全置換術におけるナビゲーションシステムの普及、寛骨臼カップ設置角度の改善、ひいては人工股関節全置換術の長期臨床成績の向上に期待が持たれる。ポータブルナビゲーションシステムの設置精度に関する先行研究は未だ存在しない。従って、本研究は外科医にとって有用なエビデンスとなる。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	検査データ、診療記録
研 究 対 象 者	順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科に通院または入院中の変形性股関節症、大腿骨頭壊死症患者で2017年6月1日から2018年6月1日までHipAlignを使用してすでにおこなった人工股関節全置換術を施行した症例を対象とする。
研 究 対 象 期 間	西暦2017年6月1日から西暦2018年6月1日の間
利用する者の範囲	<p>多施設共同研究</p> <p>研究代表機関名：大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学</p> <p>代表研究責任者：講師 氏名：箕田 行秀</p>

個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：神田 章男